

温室効果ガス排出量 検証報告書

丸一鋼管株式会社 御中

2024年6月3日

株式会社 日本環境認証機構

東京都港区赤坂 2-2-19

代表取締役社長 小野寺 浩幸

株式会社 日本環境認証機構（以下、JACO）は、国内の連結子会社を含む丸一鋼管株式会社（以下、組織）により報告された温室効果ガス排出量に対して検証を行った。検証の目的は、報告情報の信頼性および正確性など、報告情報の信憑性を検証した結果についてその見解を述べることにある。

1. 検証の目的及び範囲

当社は、組織が算定した2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の温室効果ガス排出量情報について検証を行った。

- 国内の23拠点におけるスコープ1及びスコープ2温室効果ガス排出量
- 組織の定義に基づくスコープ3温室効果ガス排出量

算定書を作成し温室効果ガス排出量を報告する責任は組織にあり、JACOの責任は、独立の立場から算定書に記載された温室効果ガス排出量に対する意見を表明することにある。

2. 検証手続

当社は、ISO 14064-3:2019 Greenhouse gases – Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements に準拠して検証を行った。当社は、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- 温室効果ガス排出量を特定し、算定する責任のある組織の関係者へのヒアリング又は書類による確認
- 温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報（データ）に対し、算定基準の適用方法、データの測定方法、組織が採用した仮定、その基礎となるデータの評価、算定書における記載の検討
- 温室効果ガス排出量の正確性を確認するための情報（データ）のサンプリングによる検証

3. 検証の結論

当社が実施した検証作業とプロセスによると、予め合意された重要性の基準を超えて、組織が管理する算定結果に基づく組織の温室効果ガスに関する主張が以下であることを示す証拠は見出されなかった。

- 著しく正確性を欠いて、対象範囲における温室効果ガス排出量データ及び情報を適切に表していない。
- 組織が定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って準備されていない。

検証された温室効果ガス排出量

スコープ1：20,134 tCO₂e、スコープ2：56,854 tCO₂e（再生可能エネルギー等による削減を含む）

スコープ3：1,704,359 tCO₂e

スコープ3排出量の内訳は以下の通り。

- カテゴリ1：1,529,256 tCO₂e、カテゴリ2：61,159 tCO₂e、カテゴリ3：27,375 tCO₂e、
カテゴリ4：35,879 tCO₂e、カテゴリ5：4,199 tCO₂e、カテゴリ6：202 tCO₂e、
カテゴリ7：630 tCO₂e、カテゴリ9：632 tCO₂e、カテゴリ10：43,898 tCO₂e、
カテゴリ13：1,129 tCO₂e

以上